文化財をたずねて48

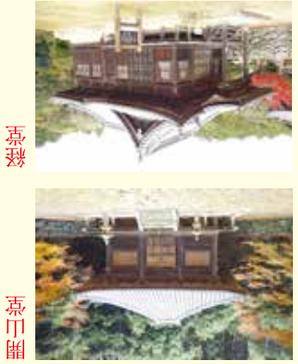
増位山めぐり

増位山随願寺の指定文化財

◎国重文「随願寺」五棟（本堂・附宮殿・開山堂・経堂・鐘楼・唐門）

本堂（元禄五年（一六九二）頃建立）、開山堂（承応三年（一六五四）建立）、経堂（宝暦十三年（一七六三）建立）、鐘楼（享保三年（一七一八）建立）、唐門（江戸時代中期建立）

本堂


開山堂

経堂

鐘楼

唐門

（平安、像高二〇・一㌢）

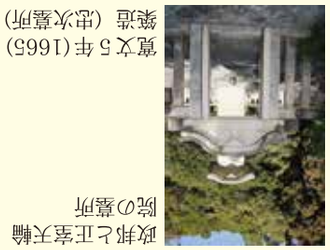
◎国重文「木造毘沙門天立像」

（平安、像高一四〇・四㌢）

○県指定「木造薬師如来坐像」

□市指定史跡「神原政邦墓所」

政邦と正室天輪院の墓所


寛文5年（1665）築造（忠次墓所）

□市指定史跡「神原忠次墓所」

（南北朝、像高九五・〇㌢）

□市指定「行基菩薩坐像」

増位山随願寺の歴史

鎌倉末期乾元元年（一三〇二）頃に聖徳太子（聖徳太子像）が創建し高句麗僧慧便を住持せず、願寺集記」に当寺は既戸皇子（聖徳太子）が講堂・講堂ならびに基弟子で相宗頓悟で四天王堂を建立し王子奈良時代に行基菩薩が金堂・講堂ならびに基弟子で相宗頓悟で四天王堂を建立し王子道上人が止住、天平勝宝四年（七五二）孝謙天皇御願で四天王合宗に改宗、承和会を修し長十年（八三三）に明天皇の勅で法相宗から天台宗に改宗、昌元年〜嘉祥二年（八三四〜九）に伽藍整備（諸堂造営・礎原木比等建立説）、貞門天堂の修補）、貞観十七年（八七五）勅使在原業平の有明峯での詠歌、延泰二年（八九九）菅原道真の法華経・薬師経施入、同三年宇多法皇御幸、延喜六年（九〇六）空也の薬師経施入、正暦二年（九九一）性空上人による大講堂再建供養、康和五年（一一〇三）白河法皇御幸、仁平三年（一一五三）近衛天皇勅で酒見大明神大般若経読（播磨天台六ヶ寺成立）、嘉応元年（一一六九）国知行国主平清盛が金堂・法華三昧堂造築、後鳥羽天皇勅に諸堂建社が建立され永代不退の鎮護国家御願所となり建久四年（一一九三）源頼朝は一切経七千巻を施入する公式朝廷・幕府の手厚い庇護を受けていたことを記す。

南北朝時代に成立した「峯相記」に鎌倉末期元徳元年（一三二九）渋木で堂塔が傾倒したとある白国山（現在地）に移転再興を記し、江戸時代の「播磨鑑」に「国衙庄井出村（伊伝居）」昔増位の日地」とあり、随願寺は当初播磨国府の北約二㌔、飾磨郡大野里（飾東郡大野郷、現姫路市伊伝居）の地に造営されていたと考えられる。白国山の地への移転にあたり行基菩薩の夢告阿育王塔飛来伝説が創出され播磨守護赤松氏や国衙守護人らの支援で室町時代に増位山に再興がはかられていくが戦国時代には増位山は城砦化され永禄十一年（一五六九）織田軍の侵攻（朝山日乗書状写）、天正元年（一五七三）別所長治の侵攻（播磨鑑）などで一山荒廃に帰し た。羽柴秀吉は天正八年（一五八〇）随願寺に印南郡内百五十一石の寺領を与える朱格的な復興三）、十九石余の朱印地（元和五年九月十五日徳川秀忠朱印状写）があり、姫路藩十九石余の墓所や藩主の墓地が営まれた。また松尾芭蕉ゆかりの地としての影響で随筆の地点にも なった。明治に至り神仏判然令や廃仏毀釈の地域の地まる努力で今に貴重な文化財を随願寺の塔頭は ほぼ消滅したが寺院や地域の地まる努力で今に貴重な文化財を伝えている。

交通案内

神姫バス 白国停留所下車

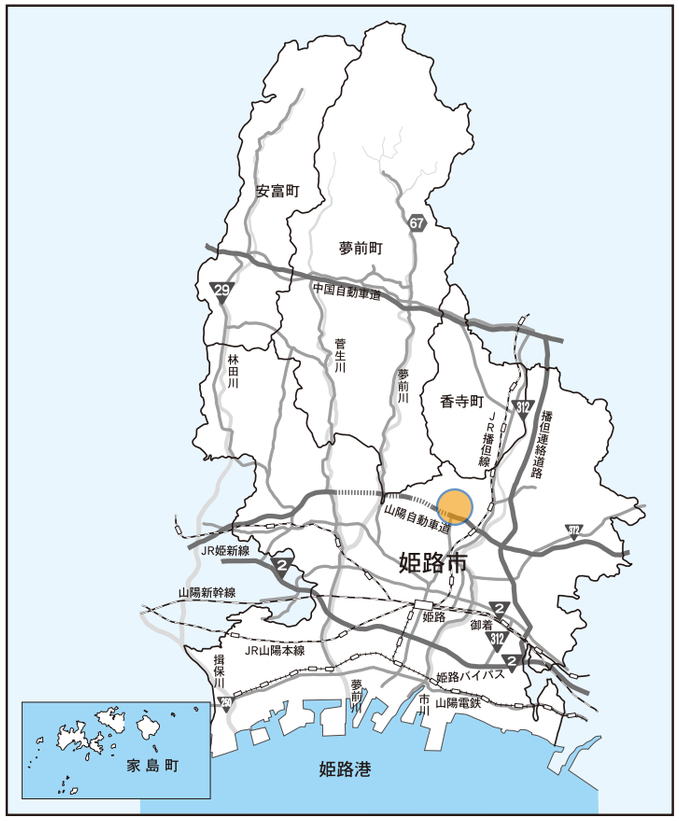
コース案内

※丸数字は裏面図上の数字、距離は概数

起点・神姫バス白国停留所→（一五〇㍍）→①佐伯神社→（一二〇㍍）→④増位地蔵→（一二〇㍍）→⑥念仏堂→（四〇〇㍍）→⑩矢穴痕のある巨石→（五〇〇㍍）→⑮有明峯推定地（八五〇㍍）→（三〇〇㍍）→⑰砥堀古墳→（三〇〇㍍）→⑱榊原政邦墓所→（三〇〇㍍）→実相院墓所→（一〇〇㍍）→㉑本堂→（一二〇㍍）→㉔開山堂→（四五〇㍍）→㉕境岩→（六〇〇㍍）→㉞鐘楼→（三〇〇㍍）→㉒天保二年丁石（九丁）→（五八〇㍍）→㊻天保二年丁石（四丁）→（六五〇㍍）→神姫バス白国停留所

表紙説明

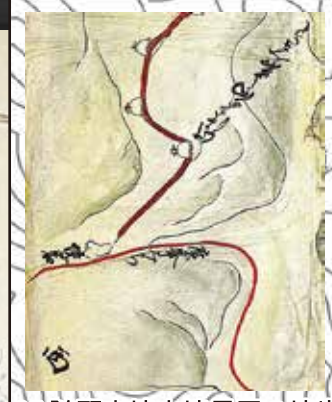
「播磨国増位山随願寺之略図」摺物写しを着色（色鉛筆）、江戸時代の増位山随願寺を俯瞰でき、廃絶した塔頭や諸堂もみられる。



令和７年２月発行
（姫路市教育委員会 発行
姫路市文化財保護協会 編集）

文化財をたずねて48

増位山めぐり



25 随願寺境内境界図の境岩

21 薬師如来坐像

1	佐伯神社
2	昭和 14 年道標（右増位たいし尊ふうら堂道）
3	天保 2 年丁石（一丁）
4	増位地蔵（芥田氏建立享保 12 年石造地蔵）
5	老僧岩（弁慶岩、矢穴痕有り）
6	念仏堂（旧常行堂）・西国三十三所写し霊場
7	井上寒瓜・寒鴻・寒烏・寒桐墓塔
8	姫路藩主酒井忠恭句碑
9	聖徳太子像・地蔵菩薩像・太子堂跡・風羅堂跡
10	矢穴痕のある巨石
11	増位山 2 号墳（古墳時代）
12	増位山 1 号墳（古墳時代）
13	山根遺跡（弥生～古墳時代遺物散布地）
14	増位山 3 号墳（古墳時代）
15	有明峯推定地
16	有明山城跡（増位城跡）
17	砥堀古墳（古墳時代）
18	榊原政邦墓所（市史跡、政邦・光夫妻墓所）
19	塔跡礎石
20	実相院墓所
21	随願寺本堂（国重文）・薬師如来坐像（県指定）
22	元文 5 年法華塔・元文 6 年石燈籠一対
23	榊原忠次墓所（市史跡）・同唐門（国重文）

24	開山堂（国重文）・行基菩薩坐像（市指定）
25	境岩（推定）
26	池田輝政供養塔
27	地蔵院跡・地蔵院城跡
28	地蔵院主供養塔（道邃・善慶（小寺休夢）・善栄）
29	池田輝政五輪塔
30	経堂（国重文）
31	地蔵院跡・収蔵庫（木造毘沙門天立像（国重文））
32	御供所
33	観音堂跡
34	鐘楼（国重文）
35	護摩堂跡（随願寺会館東側に護摩堂再建）
36	弁天社（享保 4 年石燈籠）
37	風呂跡（北側に黒龍大神碑・白鷺宮明神碑）
38	井上千山墓塔
39	天保 2 年丁石（拾丁）
40	一品大明神
41	文化 2 年石造地蔵
42	天保 2 年丁石（九丁）
43	天保 2 年丁石（八丁）・享保 12 年丁石（七丁）・石仏群・五輪塔残欠
44	享保 12 年丁石（七丁）旧地推定地
45	天保 2 年丁石（六丁）
46	天保 2 年丁石（四丁）
47	享保 12 年丁石（三丁）・天保 2 年丁石（三丁）
48	天保 2 年丁石（二丁）
49	新風羅堂跡
50	簑塚
51	千明句碑・栗堂句碑
52	大年神社
53	白国宮山 1 号墳（古墳時代）
54	白国宮山 2 号墳（古墳時代）
55	白国梅林園遺跡（弥生～古墳時代遺物散布地）
56	明治 30 年道標（右しよしや山左ほつけ山）
57	掘り上げ地蔵
58	高松寺・文政 4 年道標（左ほつけ山右しよしや山）
59	道標（正面：増位山道右側面：たじまみち）
60	明治 30 年道標（右しよしや山左ほつけ山）

15有明峯推定地より眺望
東方（市川と生野橋）

39天保 2 年丁石（拾丁）
（石垣の上は真如院跡）

6 念仏堂（旧常行堂）

10矢穴痕のある巨石

広峯道
蛇ヶ池
広場駐車場
増位山上
P
WC
随願寺会館
放生池
屏風岩
梅林橋
望城橋
追儺橋
増位川
西尾根ハイキングコース
旧参道
セキトウダニ
東尾根ハイキングコース
太子谷
白国東公園 WC
山陽自動車道（トンネル）
宮山観音堂
大年神社
巡礼道
増位池
県道 518 号
生野道
随願寺入口
神姫バス白国
白国
保城
砥堀
白国
西中島